

1 使い方

要するに著者は特に気にせず通常通り`\cite{aaa,bbb}`と入力すればOKです。

ここでは参考文献リストの動作を確認します。学会のテンプレートで参照されている文献[1, 2, 3, 4, 5, 6]は、左記のように表示されますが、学会のテンプレート側で上付きの^{1), 2)}といった処理がされます。^{1), 2)}や^{1~6)}といった表記も学会のテンプレート側でしてもらえます。

2 注意点

2.1 upbibtex を使ってください

bibtexuを使うとカンマやピリオド、スペースなどの処理がupbibtexと違うようで出力が乱れます。upbibtexをお使いください。

ちなみに、SICE 会誌本体のtexファイルは

1. `\documentclass[uplatex]{jsice}`としてuplatexでコンパイル
2. latexで(“u”のないコマンドで)コンパイル

とするとコンパイルが通りました。

2.2 日本名の記述の流儀にあわせて、設定を変更してください

オリジナルのjecon.bstから継承している設定項目です。

1. bib ファイルで `author = {姓, 名}` あるいは `{名 姓}` と記入している(つまり英語名と同じルールで記入している)著者: 特に設定は必要ありません。
2. bib ファイルで `author = {姓 名}` あるいは `{名, 姓}` と記入している著者: bst ファイルの `FUNCTION {bst.sei.mei.order}`の箇所を書き換えてください。bib ファイル自体の修正は必要ありません。

2.3 bib ファイルでのページ数の記入の流儀にあわせて、設定を変更してください

SICE の雑誌に合わせて“aaa/bbb”といった形式にする処理を行っています。このため、

1. bib ファイルで `pages = {aaa--bbb}`とダッシュ2回で記入している著者: 特に設定は必要ありません。
2. bib ファイルで `pages = {aaa-bbb}`とダッシュ1回で記入している著者: `FUNCTION {bst.slashfysingledash}`の箇所

を修正してご利用ください。bib ファイル自体の修正は必要ありません。

3. bib ファイルで `pages = {aaa - bbb}`や `pages = {aaa -- bbb}`と空白を入れて記入している著者: スペースを取る処理は現状bst ファイルにはありませんので、
 - (a) bib ファイルを修正する
 - (b) 吐き出されたbbl ファイルを修正するなどで修正をご検討ください。

参考文献

- [1] A. S. Morse: Global Stability of Parameter-Adaptive Control Systems, *IEEE Trans. Automatic Control*, **25**-3, 433/439 (1980)
- [2] 豊田, 谷村: 微細形状のナノメートル計測技術, 計測と制御, **25**-5, 417/420 (1986)
- [3] W. N. Woaham: *Linear Multivariable Control: A Geometric Approach*, Springer-Verlag (1974)
- [4] 高橋安人: コンピュータによるダイナミックシステム論, 科学技術社 (1970)
- [5] 鈴木 篁: 銅製錬, 科学便覧 (日本化学会編), 1501/1506, 丸善 (1958)
- [6] N. Handel: Magnetic Flowmeters, *Process Instruments and Controls Handbook* (D. M. Considine, ed.), 4-45/4-48, McGraw-Hill (1974)